

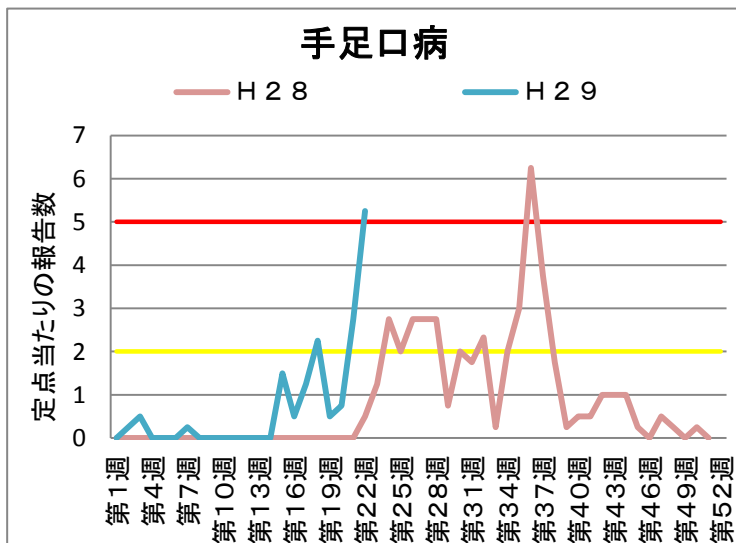
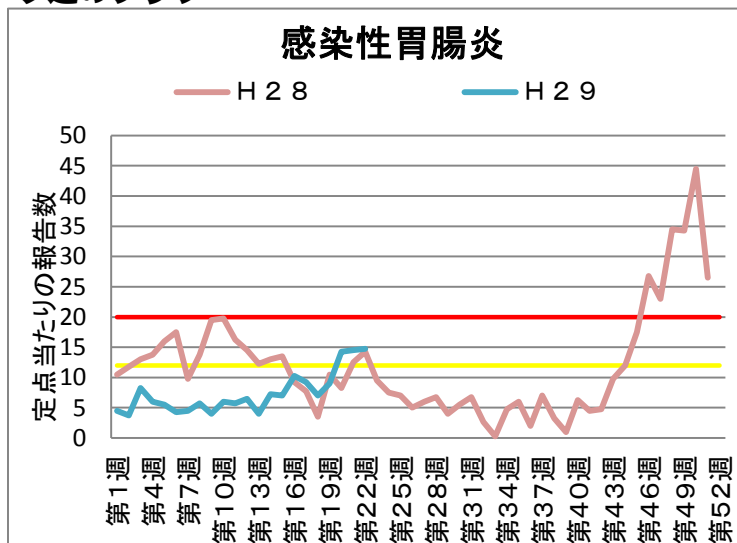
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 22 週 平成29年5月29日 ~ 平成29年6月4日

今週のコメント

○ 感染性胃腸炎の報告は横ばいですが(定点あたり14.75)。
○ 咽頭結膜熱は減少しましたが、手足口病の報告が増加し、流行警報基準値の5を超え警報レベルとなりました。手足口病は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症です。乳幼児がかかりやすく、ほとんどは数日で回復しますが、まれに髄膜炎などを起こすことがあります。口腔内病変で摂食しにくくなるがありますが、水分不足にならないようにすることが大切です。例年7~8月をピークに流行が見られますので、今後も注意が必要です。感染経路は接触感染・飛沫感染なので、予防のために手洗い・うがいをしっかりとしましょう。便中にもウイルスが排出されるので、排便後の手洗いおよびおむつ処理後の手洗いも大切です。タオルの共用も避けましょう。

今週のグラフ



* — 流行警報基準値です — 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	5.25
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	百日咳	-
感染性胃腸炎	14.75	ヘルパンギーナ	0.5
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	0.75

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

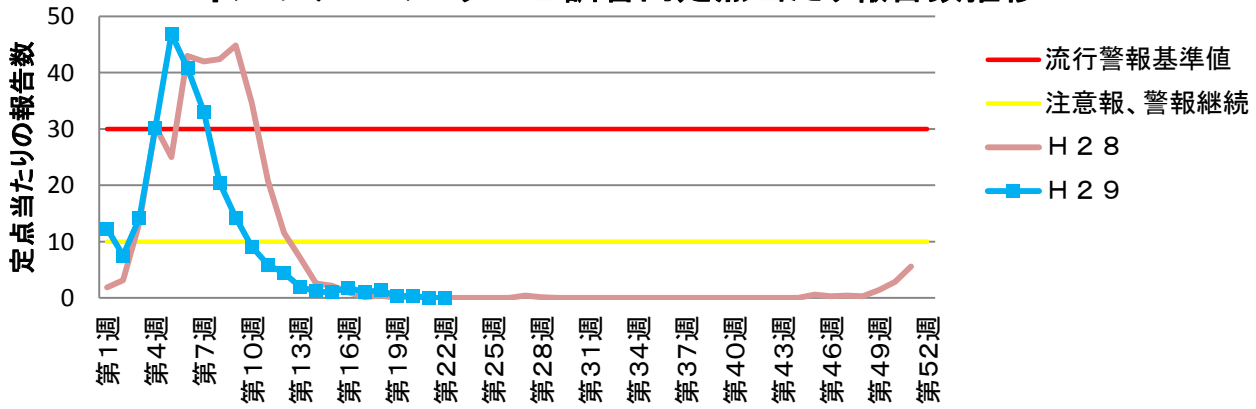
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

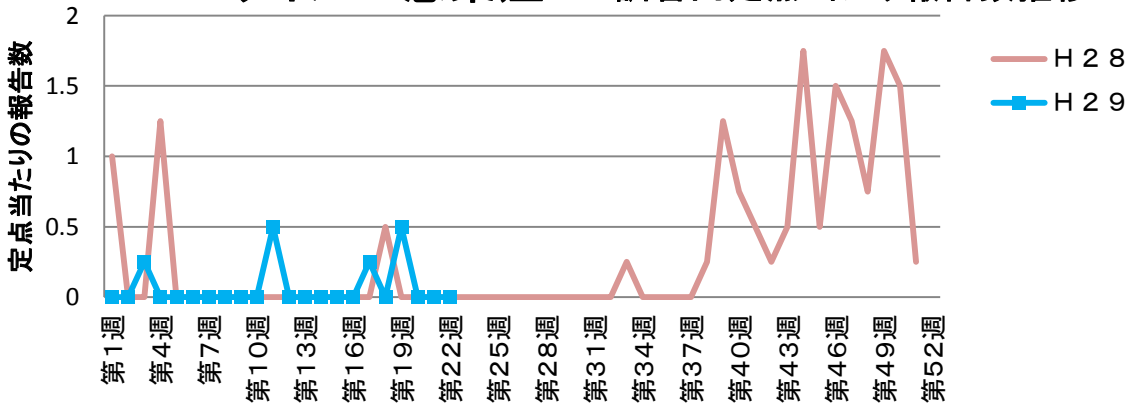
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

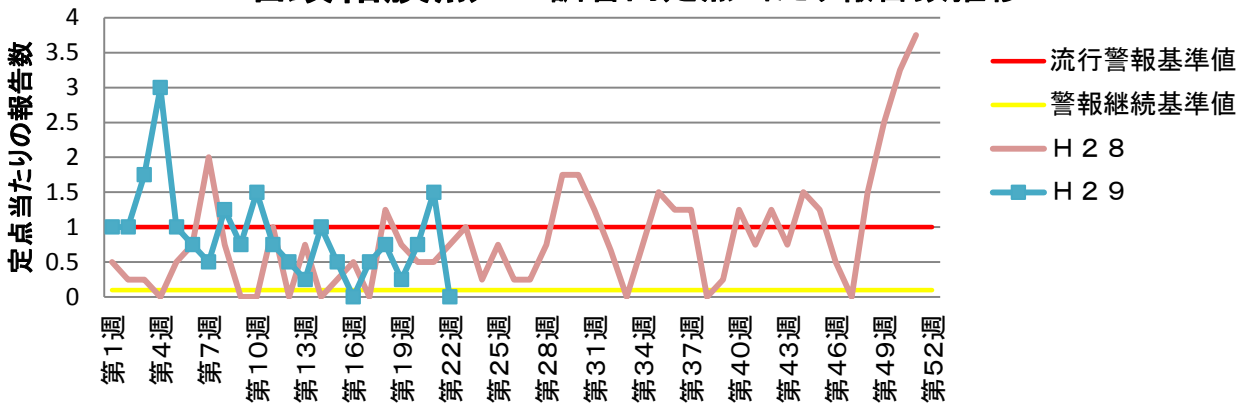
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



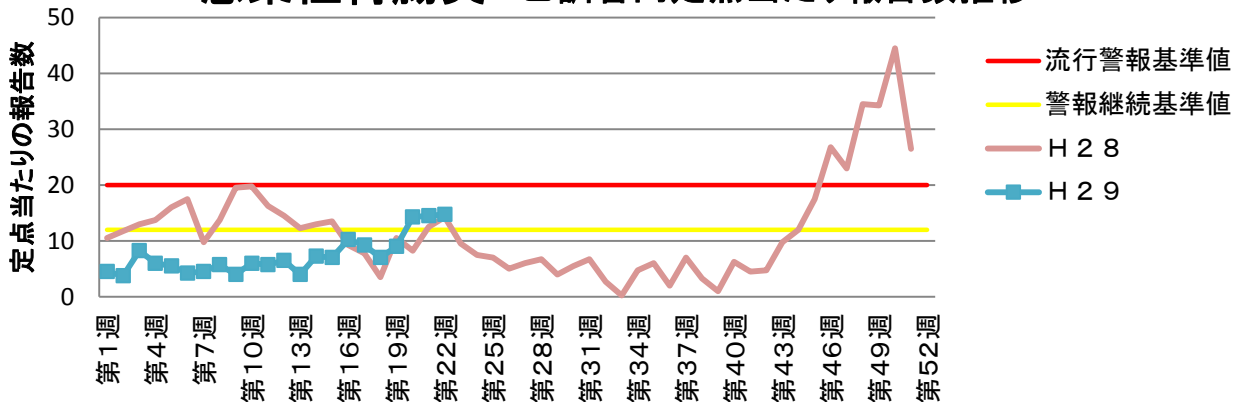
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



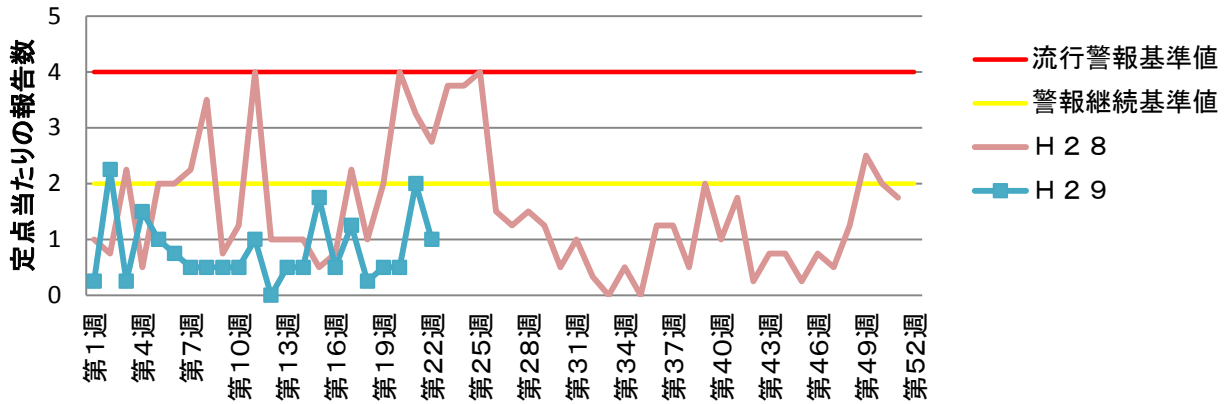
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



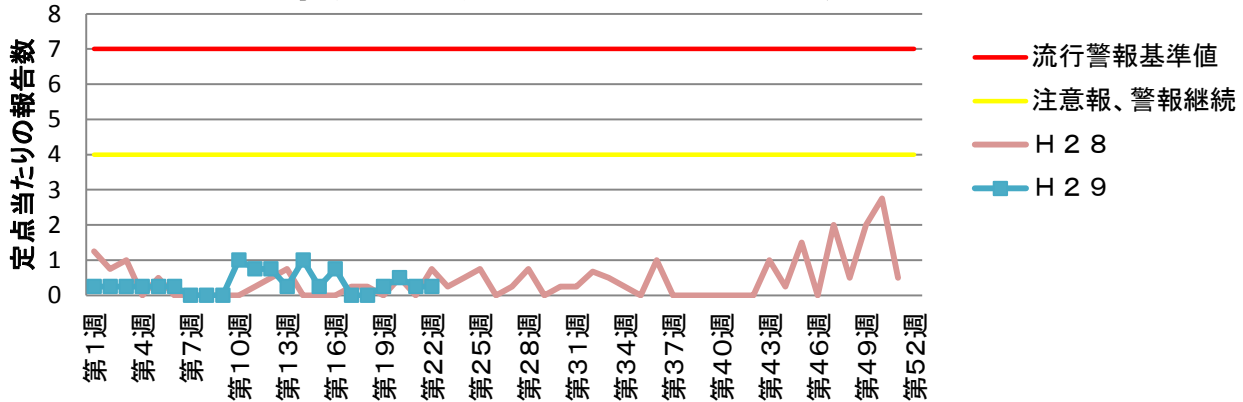
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



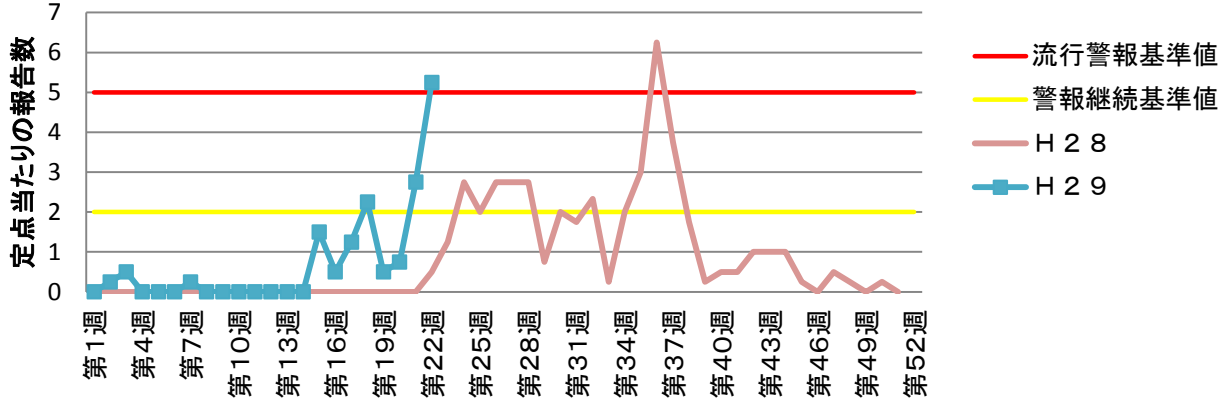
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



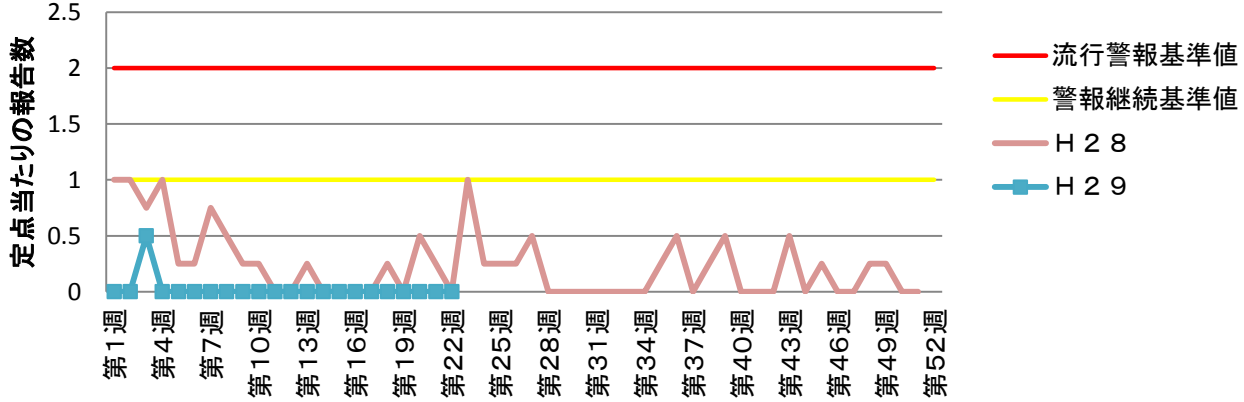
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



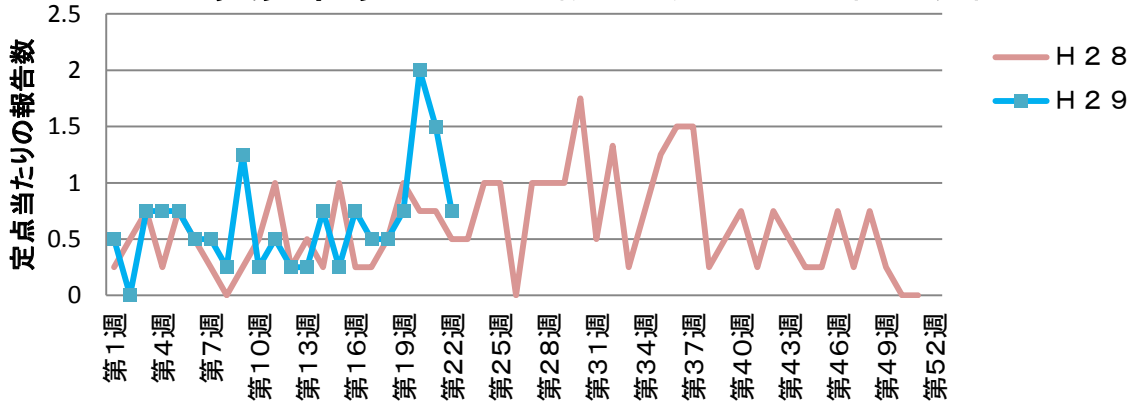
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



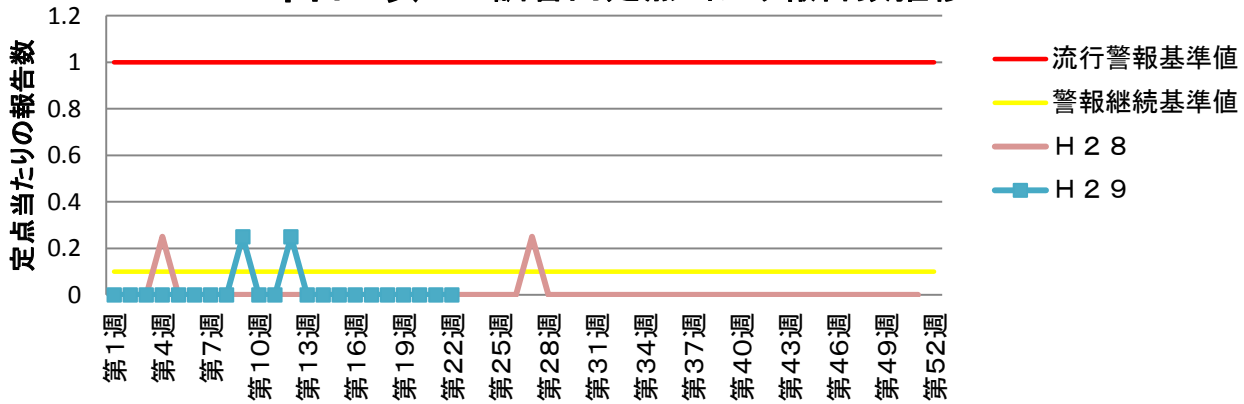
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



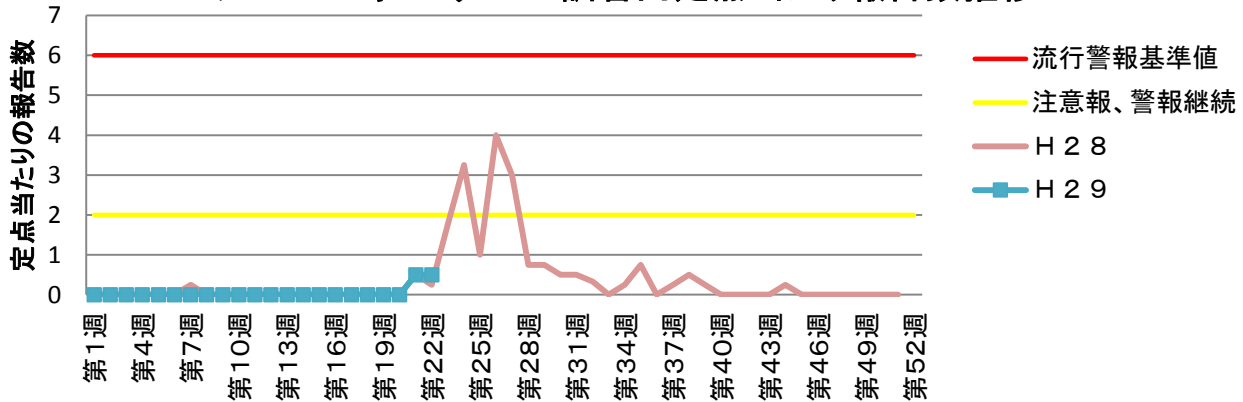
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

